

令和4（2022）年度第1回那須塩原市環境審議会 会議録

1. 開催日時 令和4（2022）年7月19日
2. 開催場所 那須塩原市役所本庁舎 303会議室
3. 出席者 委員15名中13名（別紙名簿のとおり）
磯市民生活部長
亀田環境課長、伊藤環境課長補佐、中山環境保全係長、和泉主査
大野廃棄物対策課長、福田廃棄物対策課長補佐兼施設係長、
伊藤一般廃棄物対策係長、豊田産業廃棄物対策係長

-
- 1 開会・・・亀田環境課長進行
会議成立宣言
 - 2 あいさつ
【大久保会長あいさつ】
【磯市民生活部長あいさつ】
 - 3 自己紹介
 - 4 議題 【主な質疑応答（要旨）】
○委員発言 ◇事務局発言

報告事項

【1】令和3（2021）年度那須塩原市環境基本計画の進捗状況について

○粟谷委員

- ・5 循環型社会の構築（1）廃棄物の発生抑制と適正処理の一般廃棄物の最終処分量の増加の要因が指定廃棄物の解除による一時的なものとの説明であったが、今後、増える可能性はないということか。
- ・焼却灰の管理は一般廃棄物と同様に最終処分場に処分するベクレルに問題はなかったのか。
- ・市民からの問合せはなかったのか。

◇大野課長

- ・指定廃棄物の指定解除、最終処分場に搬入したのは1,113 tである。残っているのは、順次、8,000 ベクレルを切った段階でその都度解除するので、今後、急激に増えてしまうことはない。
- ・ベクレルに関しては、指定解除する前に国が測定し、8,000 ベクレルを下回っているのを確認したうえで、埋立しているなので、問題ない。
- ・市民からの問合せは、何件かあった。特段、大きな反対はなく、どういうことですかと説

明を求める意見であった。

○月井誠一委員

・2 生活環境の保全(3) 安全・安心な市民生活の実現の苦情件数【産業型公害】について、接骨木地区の養鶏場が拡大するという話を聞いている。鶏の糞尿処理での苦情があるのか。

◇中山係長

・令和3年度について苦情はほとんどない。実際、地元の方からすると、朝や時間帯によっては、臭いがあると聞いている。拡張計画もあるので、事業者が5月に地元説明会を行った。私も養鶏場には何度か行っているが、臭いは感じている。

○月井誠一委員

・糞尿処理が地下水にまで地下浸透して、下流まで流れてしまっていないのか。

◇中山係長

・糞尿処理については、施設内で堆肥化しているので、鶏糞が地下に影響するような形ではない。

○郡司委員

・6 環境保全活動と環境学習の推進(1) 環境保全活動と環境学習の推進について、クリーンセンター施設見学の査定をもって環境学習が進んでいるといえるのか。

・環境学習について、教える先生と教えない先生がいる。環境学習は大人になってからでは手遅れなところもある。クリーンセンターの見学も大事であるが、他にも教えてほしいこともあるので、今すぐには出来ないかも知れないが、数年かかっても、教育委員会と相談しながら、こういうことは教えてくださいと市として出した方がいい。

◇亀田課長

・教育委員会と相談しながら、どのような作り方がいいのか探っていきたい。

○君島委員

・5年くらい前から市の小学校も環境教育の重要性に気づいてくれた学校がある。徐々にではあるが、3～5年生については、環境教育の場が増えてきている。

・私の取組は、住んでいる地域に環境や自然がどのようなものがあるのかを知ってもらうこと。黒磯地区では鳥野目河川公園を使って、外来種の問題や地域に生息している希少種を調べる授業。関谷地区では、自分たちの田植えした場所でどんな生物と一緒に手を止めている

かという授業。他の小学校でも取り挙げてもらえれば。市の自然について、学校でやっても
らえればいい。教育委員会に強く推してもらった方がいい。

○大久保会長

・確かに、そのとおりである。

○月井誠一委員

・那須野が原博物館では、カエルやセミの調査をやっている。小・中・義務教育学校の段階
では環境学習が大事である。県立高校では学校選定科目があり、教科書がなくても、環境学
習が出来る。市の関係する部署で具体的に進めていけば、未来が明るくなる。

○福田委員

・2 生活環境の保全(1) 公害の防止の異常水質発生件数について、4件のうち2件が油
の道路流出、1件が油の河川流出、最後の1件が魚のへい死、へい死の原因は何か。

◇中山係長

・魚のへい死の原因は、簡易的な水質測定を実施したが、問題はなかった。ただし、PHの
結果が酸性の4~5くらいであったが、具体的な原因まではわからなかった。

○君島委員

・漁業組合の関係だと思いますが、塩原漁業組合では今は1件あるかないかであるが、10
年くらい前までは旅館やホテルのお風呂の掃除のときに強力な酸性の洗剤を使う。たまた
ま、高濃度のまま川に排水されてしまって、魚類がダメージを食らってしまったことがあつ
たが、今はほとんどない。たまに、こういうことがあるので、旅館関係者には組合として、
注意をしている。

○里見委員

・環境基本計画と委員の関係というか立場、今回、報告ということですので、我々は聞き置
けばいいのか、環境基本計画に積極的に関わっていく立場なのか、これまでの経緯を含めて
教えていただきたい。

◇亀田課長

・環境基本計画には指標がある。基本計画に載っている指標の進捗を見ていただいて、審議
会からご意見をいただくことをこの計画のPDCA推進の中で定めている。

◇中山係長

・今の環境基本計画を策定したときは、審議会で審議いただいて、委員の方からご意見いただいた経緯がある。今は、基本計画の指標の進捗にご意見いただいて、そのご意見が次の改訂に繋がるかも知れない。

○里見委員

・P D C A自体は市で実施する。専門的な立場から助言を行うというスタンスでよろしいか。対策とかは市で検討し、講じられるという理解でよろしいか。

・1 自然環境の保全(2) 森林の保全及び林産物の利用促進の森林面積について、方向性が維持となっている。開発とかで解除されていると思われるが、維持となると、減るのは避けられないので、増やすのとセットでなければ維持出来ない。増やすのも難しいと思われるので、38,000で留めるように減少抑制がより適切な表現ではないか。

◇亀田課長

・ありがとうございます。

○大久保会長

・3 快適環境の保全(1) 安全・安心な生活基盤・都市基盤の整備の地域バスの利用者数について、目標に対して、現況の人数が少ないと思われる。那須地区だから、しょうがないと思うが、バスの公共交通の利用推進ということは。

◇磯部長

・順調に利用者は増えていたが、コロナの影響があつて、腰を折られる形になってしまった。車社会で公共交通機関を使う方が少ないところがあるが、高齢になって免許を返納する方や観光客の方がいらっしゃったり、高校生は通学でバスが必要なことがありまして、毎年のように見直しを行っている。

・現在、公共交通計画の見直しを行っており、今年、それが出来るようになっている。今後については、決まった路線・決まった時間では使い勝手が悪いということで、デマンド交通といいますが、必要なときにインターネットや電話で予約をして、自分の家の近くから公共施設や病院に行けるような計画が出来ないかという要望が市民の方や議会から多く出ている。デマンド交通をどのようにやっていこうかという検討をしている。

・目標に達するかはわからないが、出来るだけ皆様に公共交通を使っただけのように様々な工夫をして取り組んでいきたい。

【2】令和3(2021)年度那須塩原市の環境保全の取組について

○林委員

・資料3、4に係わるが、CO₂排出量やクリーンセンターのごみ受入量はグラフで示されて

いたと思う。流れを見るのに有効だったと思う。数値だけを並べるのではなくて、何年間かの変化を環境基本計画策定時からの変化を調べるということをやっていただきたい。現状との動きとか、どんな傾向なのかがよくわかると思う。そういうことを要望したいと思います。

◇亀田課長

・承知しました。次回に向けて、分かりやすい資料をご用意させていただきます。

○粟谷委員

・企業立地審議会の委員もしている。そちらでも気候変動対策の取組に対して企業に補助金を出す方向で検討されたりという議案が出ていて、スマートファクトリーですか、CO₂削減を目指した企業に補助金を出すということを商工観光課でやっている。気候変動対策局などにご相談されたらという話になっていた。自治体で今後気候変動対策は全体的な取組として必要になってくる中で、部門間の連携はどのようにお考えなのか。この審議会の役割というのは、ご報告いただくものに対して、専門家意見をお答えする限りにおいて機能していればいいのか。前回、別の審議会で言ったコメントが、今後どこまで広がっていくのか気になったので、連携について教えていただきたい。

◇亀田課長

・部門間の連携。例えば、庁舎の照明をLED化に推進していこうと考えたときに、調査自体は気候変動対策局でやる。調べた結果、費用対効果を考えながら、学校・保育園がどういった方法で実施していくのか、そういったことを協議しているという意味で一つの連携と言えるのか。

○粟谷委員

・気候変動対策局は調査とかという計画を立てる段階を担当されて、環境課は実施を担当されているというすみ分けになっている。

◇亀田課長

・環境マネジメントシステムは市有施設における脱炭素化を担っている。調査結果に対して、市有施設にどうアプローチしていくかは環境課の役割になっている。

◇磯部長

・庁内については、気候変動適応センターが設置してある。気候変動対策局が事務局になって、気候変動関係の庁内全体的な取りまとめをやっている。先ほどの企業立地の案件についても、その中でどういった取組が出来るのか検討していくのがいい。庁内でも検討の在り方

を考えていかなければならない。

○月井誠一委員

- ・(3) 河川等水質調査(環境課)について、前は那珂川と箒川の他に那須疏水の調査もやっていた。那須疏水の調査は年1回に減ったのか、無くなったのか確認したい。
- ・(4) 農薬濃度調査(環境課)について、ゴルフ場の農薬問題、相当量の除草剤、殺虫剤をまいていると思う。6月の1回だけの調査で足りるのか。

◇中山係長

- ・那須疏水の調査については、以前、市で調査をしていた。それが、疏水による調査に変わったのか、曖昧である。

○月井誠一委員

- ・那珂川から取水している。疏水の調査はやっておいた方がいい。

◇亀田課長

- ・お調べした結果、後でご報告します。

◇磯部長

- ・那須疏水については、水道の水源にもなっている。鳥野目浄水場・千本松浄水場では那須疏水から取水しており、水質は調べていると思う。無くなってしまった経緯については、調べさせてください。

◇中山係長

- ・ゴルフ場の農薬調査は市でやっている。事業者でも自主的に水質調査を年3回やっており、問題ないと報告を受けている。

○大久保会長

- ・いつの審議会であったか、うろ覚えで宇都宮の審議会であったかも知れないが、ゴルフ場の方の意見として、自分の所で池を作って、そこへ排水を流して、魚を飼っていたら大丈夫と言っていた。

○林委員

- ・(3) 河川等水質調査(環境課)について、大腸菌群数の基準達成率はここ数年20%~60%ということだが、原因はなにか。また、対応をとられているのか。

◇中山係長

- ・大腸菌群数については、数年前にこのような状況が続いているので、自然由来かどうかの調査をしたが、自然由来という結果であった。具体的な対策は難しい。
- ・令和3年度までは大腸菌群数という項目であったが、水質汚濁防止法の改正により、令和4年度からは大腸菌数という正確に大腸菌数を調査する項目に変わった。4月、5月の調査結果は概ね基準値内、6月は基準を上回っていたが、以前のように何万という結果ではない。令和4年度以降の大腸菌数の調査結果を経過観察していきたい。

○柴崎委員

- ・(6) 地下水水質調査(環境課)について、所有者から濁りの通報があったという話があったが、井戸の深さとか具体的な所有データは、どこかで公表されたり、ホームページに載っていたり、報告書みたいに出ていたりするのか。

◇中山係長

- ・調査結果について、ホームページで公表しているが、井戸の深さは公表していない。

○柴崎委員

- ・所有者の方が異常に気付いて市に連絡してきたときに、定例の調査以外にも、現地に行って調査はしているのか。

◇中山係長

- ・異常があった方は、調査を予定していたので、改めて、異常があったからの調査ではなく、通常の調査のときにたまたまタイミングがあった。所有者からも気になるので、早く調査をしてほしいと連絡があった。

○柴崎委員

- ・何色で濁っているとか、濁りの程度はどのくらいであったか。

◇中山係長

- ・色は淡いグレイであったと記憶している。

○柴崎委員

- ・原因は何であったのか。

◇中山係長

- ・直近であった地震の影響や近隣の工事の影響なのかと相談を受けたが、原因究明までいか

ないまま、元に戻った。

○林委員

・ 9. 騒音及び振動関係 (2) 新幹線騒音調査 (環境課) について、基準値 70 でも結構な音量だと思うが、75 とか 77 デシベルというのは私は大きな音だと思うが、JR に申入れなどはされているのか。

◇中山係長

・ 基準値を超えているので、JR に申入れしているが、那須塩原市単独ではなく、栃木県が主となって、新幹線沿線 11 市町があるが、こちらの方で新幹線公害対策連絡協議会という組織を立ち上げて、組織から JR に毎年、環境基準を超えているので、対策をしてくださいと申入れしている。その結果、JR から具体的な要望の回答はないが、対策としてレールを削る、防音壁を設置しているという報告はいただいている。

○林委員

・ 改善はされているのか。

◇中山係長

・ 調査も年に 1 回しか実施していない。数値的には前年より高くなっていることもある。目に見える形で数値が減少していないのが、現状である。

○林委員

・ 11. その他 ③グリーン購入割合の実績について、説明していただきたい。

◇中山係長

・ グリーン購入法がありまして、エコマークとかの物をなるべく購入しましょうと市で取り組んでいるところであるが、本来であれば、100%ということであるが、実際、割合としては 100%ではなく、3年度は 89%という実績である。

○林委員

・ どういう用途で構成されている。

◇中山係長

・ 具体的には、用紙だったり、いわゆる消耗品と言うんですかね。文房具とかコピー用紙とか。

◇磯部長

・上手くいかないというのは、エコマークが付いていない物があったりする。

◇中山係長

・そういう製品も一部あったりする。

○大久保会長

・7. 水質関係(5)水生生物による水質調査(環境課)について、那珂川水生生物調査の幾世橋が前も汚れているという数値であった。今回も同じように汚れている。原因は。

◇中山係長

・幾世橋是那珂川の上流の方にある。汚れていると評価される生物が生息している具体的な要因までは判明していない。

○大久保会長

・原因の追究は。

◇大野課長

・温泉街のすぐ下にある橋なので、生活を営んでいる人たちがいて、生活の影響、温泉水なども入ってきますので、影響があるのかなど。

5 その他 ※亀田課長進行

6 閉会

閉会の宣言

15:27 閉会

令和 4 年 8 月 24 日

会議録署名委員

郡司

修

別紙 那須塩原市環境審議会委員名簿

(任期:R2.10.1~R4.9.30)

区分	番号	関係機関・団体等名	職名等	氏名	備考	第1回環境審議会 出欠
学識経験者	1	那須塩原市動植物調査研究会	委員	刈部 敬子	副会長	出席
	2	那須塩原環境ボランティアの会	会長	郡司 修		出席
	3	那須野が原の自然調査会	副会長	林 治雄		出席
	4	宇都宮共和大学	名誉教授	大久保 忠且	会長	出席
	5	株式会社 那須環境技術センター	代表取締役	福田 篤志		出席
	6	那須野農業協同組合	理事	月井 京子		欠席
	7	塩原漁業協同組合	理事	君島 章男		出席
	8	福島大学	教授	柴崎 直明		出席
	9	庁内法律相談担当	弁護士	粟谷 しのぶ		出席
	10		県立高校元校長	月井 誠一	副会長	出席
関係行政機関関係職員	11	県北環境森林事務所	環境部長	大森 牧子	R4.4.1~	出席
	12	那須農業振興事務所	次長兼企画振興部長	高野 孝夫	R4.4.1~	出席
	13	那須塩原警察署	生活安全課長	植木 康介	R4.4.1~	欠席
	14	塩那森林管理署	署長	里見 昌記	R3.4.1~	出席
	15	大田原土木事務所	次長兼企画調査部長	石崎 浩	R4.4.1~	代理出席

那須疏水の水質調査について

那須疏水の水質調査は、旧西那須野町が町のシンボルである那須疏水及びその他農業用水路、小河川の水質保全を図るために平成元年から開始した調査（隔年で実施）であったが、同様の調査を管理者である那須野が原土地改良区連合でも実施していたことから、平成28年度から調査を廃止とした。

【参考】

採取箇所（25箇所）

箇 所 名	摘 要
千本松浄水場付近	千本松（疏水本流《下段幹線用水路》）
国道4号交差付近	三区町（西堀《西堀用水路》）
国道4号交差付近	三区町（縦堀《縦堀用水路》）
国道4号交差付近	三区町（加治屋堀《加治屋用水路》）
国道461号交差付近	一区町（西堀《西堀用水路》）
国道461号交差付近	一区町（縦堀《縦堀用水路》）
大田原市境界付近	一区町（加治屋堀《加治屋放水路》）
市道三島三区町線交差付近	西三島（深川堀《赤田用水路》）
国道4号交差付近	太夫塚6丁目（深川堀）
J Aなすの付近	太夫塚3丁目（太夫塚堀）
那須野が原ハーモニーホール付近	下永田8丁目（深川堀）
市道二区町緑線交差付近	緑1丁目（百村川）
那須野が原博物館付近	三島5丁目（第3分水支流）
J R宇都宮線交差付近	南郷屋5丁目（南郷屋堀）
J R宇都宮線交差付近	南郷屋5丁目（勘定原堀）
市道新南449号線交差付近	新南郷屋（正十堀）
市道新南449号線交差付近	新南郷屋（南郷屋堀）
市道石林464号線交差付近	石林（南郷屋堀）
国道4号交差付近	南郷屋2丁目（第3分水支流）
主要地方道西那須野那須線交差付近	井口（藁沼用水《横林用水路》）
国道4号交差付近	西富山（藁沼用水《横林用水路》）
市道槻沢通り線交差付近	高柳（津室川）
東関根橋付近	東関根（清水川）
中城橋付近	石林（蕪中川）
大田原市境界付近	石林（藁沼用水）